

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.26
平成27年3月4日

お客様にも桜っ子しぐさを!

「この学校は、本当にいい学校です。わたしが、車を止めて門をしめようとする、そのことに気が付いた男の子が、さっと走ってきて、門をしめてくれました」

27日(金)、5・6年生の合唱指導に来てくださっているA先生が、6年生への指導の前に褒めてくださいました。6年松組のK君の何気ない気遣いが、A先生に温かさをごとけてくれました。このような周りの人に対する優しい気遣い・思いやりが桜小に広がり、良き伝統として受け継がれることを願っています。

おりしも、2日付けの中日新聞「ヤングアイズ」に、「**思いやり世界に広がれ**」という岐阜県瑞浪市の小学6年生の記事が掲載されていました。学校・学級の取り組みから具体的に始め、世界の平和を見据えた視野の広さに心を打たれました。

中日新聞 (ヤングアイズより)

山田 愛莉 小学生12歳

私が考える平和は、世界中の人々に本当の思いやりの心があるということ。思いやりとは、相手の気持ちをちゃんと分かってあげることだと、私は、思う。世界中の人々が相手の気持ちを分かってあげられるようになれば、戦争、殺人、争いなどは起こらないはずだ。

それには、身近なことから始めることが大切だと思う。例えば、私の学校では、今、思いやりの心を増やすために「**思いやり宣言**」の活動をしている。全クラスで思いやりとは何かを話し合い、思いやりの心を増やすための活動を考え、実行するものだ。私のクラスでは、言われたり、してもらったりしてうれしかったことや、がんばっている仲間のことを花の形にした紙に書き、大きな紙にはる「笑顔の花を咲かせようキャンペーン」をしている。

そんな身近なところで思いやりの心を増やす活動が世界に広がってほしい。

全校朝礼の話より (3/2)

3月になりました。今年の冬は、いつもの年に比べて寒かったように思います。まだまだ、寒い日はありますが、学校の中やまわりをよく見ると、少しずつ春が近づいているのがわかります。1年生の教室の前のチューリップは、球根が芽を出して大きくなり、えんじ色の花を付けているのがいくつかあります。また、校庭の桜のつぼみは、日増しに膨らんできています。そして、街中には、梅の花が咲き始めています。このように、わたしたちの周りは春の気配が漂い始め、春のにおいが感じられるようになってきました。

さて、今日は『1年のまとめをしよう』ということをお話します。

今、みなさんに話したように、外はまだ寒いけれど、植物は、しっかりと根を張り確実に春を迎える準備をしています。

みなさんはどうでしょうか。あと1か月もたつと6年生は中学生になります。1年生から5年生のみなさんも一つずつ進級します。

先週、校長先生が、「夢や目標をもって、諦めずに努力し続けよう」という話をしました。ぜひ、この1か月間、みなさんが立てた夢や目標について振り返りをしてほしいと思います。1年生や2年生は、2月25日の授業参観で、「1年生になってできるようになったこと」「大きくなった発表会」をやっていました。がんばったこと、できるようになったことには自信をもってほしいと思います。そして、「もう少し・・・」という人は、この1か月間が大切です。がんばりましょう。

この1か月間がんばった人は、植物がしっかりと根を張り、きれいな花を咲かせるように、次の学年でよいスタートが切れると思います。

桜小学校のみなさんが、しっかりと1年間のまとめをしてほしいと思います。

